

# おはなし会のお知らせ

参加費は無料です。

10月11日(土) 10:30~

やまが図書室にて(乳幼児~大人まで)

## 10月27日~11月9日は読書週間



読書週間のマークの由来はギリシャ神話にあります。

「ふくろう」は、学問・技芸・知恵を司る美貌の女神アテナの使いで文化の中心地アテナイ(アテネ)の聖鳥でした。

古代のギリシャ人たちは、「ふくろう」を知恵の象徴として大切にしました。森の奥ふかく、静かに瞑想にふけるこの「ふくろう」の姿こそ、読書週間のシンボルマークとして最もふさわしいと考え、読進協では長い間使用しています。

## 10月のお休み

13(月) 体育の日  
19(日) 第3日曜日  
31(金) 館内整理日

## やまが 図書室だより

2014.10月号 (NO16)



ハロウインのシンボルとして知られるオバケカボチャのジャックオーランタンを色とりどりに造ってみました。

いよいよ秋本番!

色んな事にチャレンジしてみませんか?  
下旬には読書週間も始まります。

# じどうしょしょうかい

## 『ヨハンナの電車のたび』

クリスティーナ・シェラー (著) 松永美穂 (訳) 西村書店



絵かきさんと絵本の  
ブタさんとの会話で物  
語は進んでいきます。  
ヨハンナと名前をつ  
けてもらったブタさん  
一人でさびしそう？  
さて、絵かきさんは、  
どうするのでしょうか。

## 『平安女子の楽しい!生活』

川村裕子 (著) 岩波書店



現代の女子と同じように、  
悩み多き「平安女子」  
彼女たちを通して、平安時  
代の住まいやファッション、  
恋愛と結婚、身分や進路な  
どの古典常識を楽しく身に  
つけましょう♪美しい挿絵  
もいっぱい、一番わかりや  
すい古典入門書です。

# 新着本紹介

## 『夢の抜け口』 杉本秀太郎 (著)

甲斐扶佐義 (写真) 淡交社



## 夢の 抜け 口

杉本秀太郎 著  
甲斐扶佐義 写真

甲斐扶佐義さんは、大分市出  
身ですが4歳から18歳までの多  
感な時期を山香町で過ごしま  
した。本書には、原風景とし  
ての山香が論じられている他  
山香の町並みと山香郷旧街道  
図も記載されています。

## 『死ぬまでに行きたい!世界の絶景』

詩歩 (著) 三オックス



美しい写真と一緒におす  
すめの季節・旅の予算や注  
意点も盛り込まれています。  
写真を見るだけでも楽  
しめます。見ていると「こ  
の予算で行けるのね!」・  
「行くならこの季節!」と  
だんだん行きたくなってき  
ます。